

2016年度 東京ガスグループの取組みについて

あなたとずっと、今日よりもっと。



2016年4月14日（木）
東京ガス株式会社

- 東京ガスグループは、「チャレンジ2020ビジョン」の実現に向け、「2015～2017年度の主要施策」である「総合エネルギー事業の進化」「グローバル展開の加速」「新たなグループフォーメーションの構築」に向けた取組みを進めています。
- エネルギー大競争時代の幕開けとなる2016年度は、電力の小売が全面自由化され、ガスの小売全面自由化に向けた準備が最終段階を迎える、東京ガスグループにとって極めて重要な年となります。
- 2016年度は、これらの取巻く環境を踏まえ、以下5点を東京ガスグループの主要課題に位置付け、それぞれの課題に確実に取組んでいきます。
 - 1) エネルギーの安定供給および保安の確保に向けた取組みを強化していきます。
 - 2) 2017年4月のガス小売全面自由化を前に、新制度に対応した準備を進めるとともに、お客さまとの絆をさらに強固なものとするよう努めます。
 - 3) 低圧分野における“新電力No.1”をめざし、電力小売事業の立上げに確かな道筋をつけます。
 - 4) 海外拠点の基盤が整ったことを踏まえ、海外事業への参画を本格化します。
 - 5) 「総合エネルギー企業グループ」の実現に向け、子会社を含めたグループ経営・体制を整備・強化します。

2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

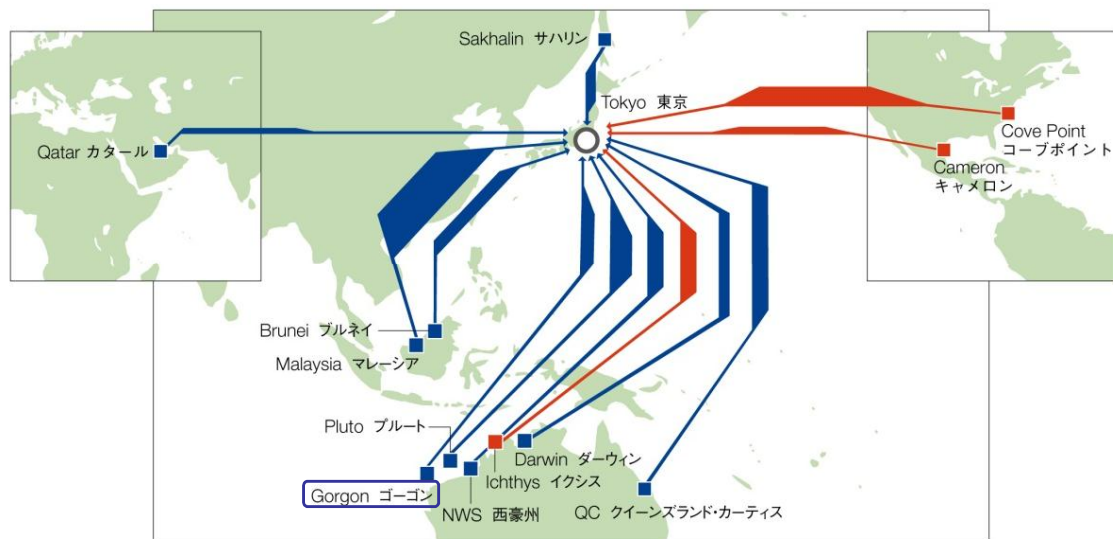
<原料調達>

- 安定かつ安価なLNG調達に向けて、「調達先の多様化」「契約内容の多様化」「LNGネットワークの多様化」をさらに進めていきます。
- 国内外のLNGプレーヤーとの連携をさらに強化・広めることにより、柔軟性確保・価格競争力のあるLNGの調達を実現していきます。

調達先の多様化

ゴーゴンLNGプロジェクトからLNGの受入を開始します。これにより、LNG調達先は、5か国12プロジェクトになります。

※米国からのLNG調達は2017年度以降に予定



東京ガスのLNG調達先（長期契約分）

LNGネットワークの多様化

トレーディングに関する体制を拡充するとともに、LNGプレーヤーとのネットワークをさらに強化します。

LNGを交換・融通する枠組み



LNG



2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

<インフラ拡充>

- 安定供給や、ガスシステム改革の目的の一つである天然ガス利用の拡大に向け、導管網や製造インフラ等の整備・増強を進めます。

<グループ内の都市ガス会社の再編統合>

- サービスのさらなる向上、ガス・電気・付加価値を組み合わせたエネルギーソリューションの実現等のために、首都圏近傍のグループ内の都市ガス会社を統合します。

導管網の増強

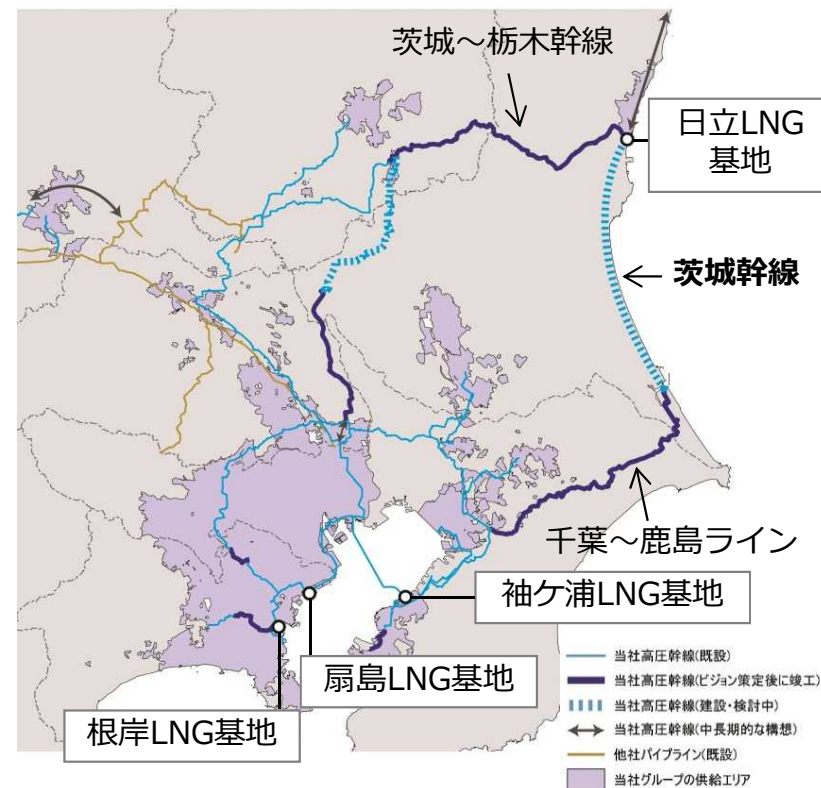
需要見通しに的確に対応するとともに、導管網を多重化することによる供給安定性の一層の強化に向けて、2015年度に使用開始した茨城～栃木幹線・日立LNG基地と、千葉～鹿島ラインをつなぐ茨城幹線の建設工事に着手します。

製造インフラの増強

日立LNG基地の気化器増設（2018年12月完成）・LNGタンク増設（2020年度完成）を進め、袖ヶ浦LNG基地のLNGタンク増設（2023年度完成）に向けた詳細設計を進めます。

グループ内の再編統合

2016年5月、千葉ガス株式会社・筑波学園ガス株式会社・美浦ガス株式会社の当社への統合を実施します。



2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

<ガスの小売全面自由化に向けた対応>

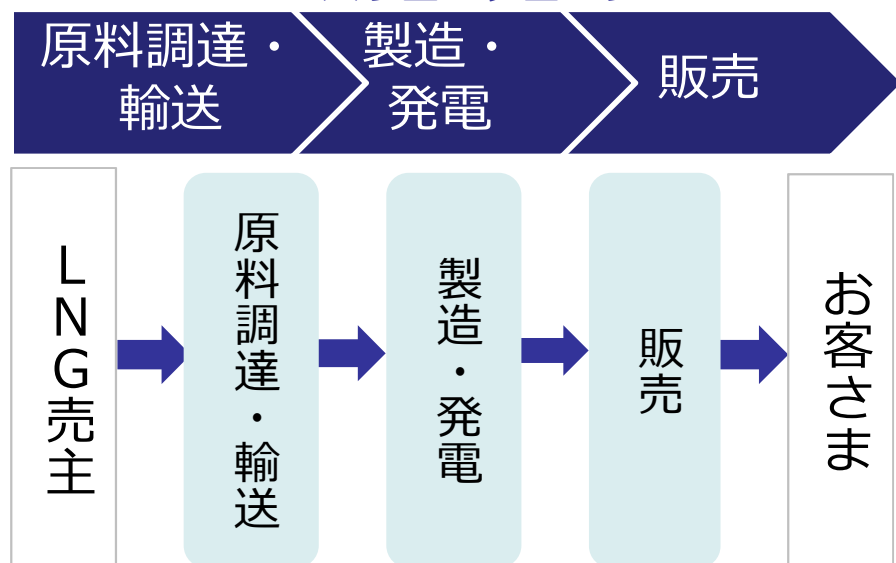
- 2017年4月に予定されている小売全面自由化に向け、円滑な対応が図れるよう、新制度に対応した準備を進めていきます。
- 天然ガス利用拡大・安定供給・保安の確保・質の高いサービスの提供等、引き続き、お客さま満足度の向上やガス事業の健全な発展に資する取組みに努めていきます。

<LNGバリューチェーンの最適化>

- エネルギーの全面自由化やLNG供給構造の変化により、需給両面における不確実性が高まることを踏まえ、安定供給および収益の安定化に向け、LNGバリューチェーン（原料調達・輸送～製造・発電～販売）の最適化を図る体制を整備していきます。

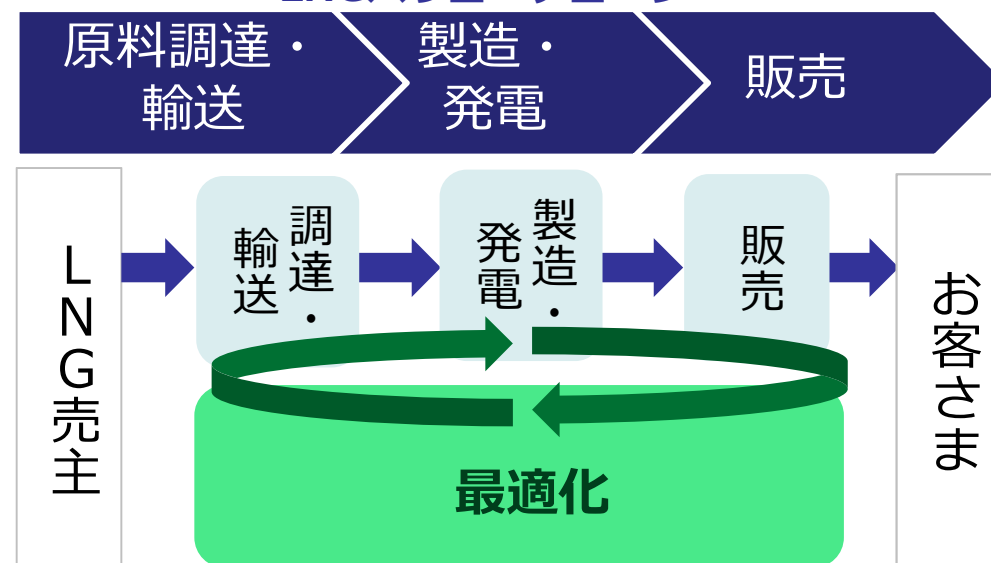
現行のイメージ

LNGバリューチェーン



最適化を図る体制のイメージ

LNGバリューチェーン



2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

＜エネルギーソリューション＞

- コージェネレーションシステム等の分散型電源を活用した、スマートエネルギーネットワークの構築を推進し、災害時のエネルギー供給、省エネ・省CO2を実現するまちづくりに貢献します。

＜卸先ガス事業者との連携＞

- 卸先ガス事業者が、ガスと電気および付加価値サービスを組み合わせた総合エネルギーサービスをお客さまにお届けできるよう、卸先ガス事業者との連携を深化・拡大していきます。

スマートエネルギーネットワーク

- 横浜市港北区綱島東のパナソニック事業所跡地にて開発される次世代都市型スマートシティ「Tsunashimaサスティナブル・スマートタウン」において、住宅へのエネファームの導入や、住宅・商業施設等の多様な施設に対し電気や熱の融通を行うためのタウンエネルギーセンターの運営開始に向け、建設を推進します。
- 日本初となる、既存街区を含むエリアのスマート化を行う日本橋室町地区において、2019年4月上旬の地域電気供給・熱供給事業の開始に向け、三井不動産株式会社とともに技術検討および行政手続き等の準備を進めていきます。



出典：三井不動産株式会社
「日本橋室町三丁目地区第一種市街地再開発事業A地区」

2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

＜電源の拡充＞

- 競争力のある天然ガス火力電源やベース電源の拡充に加え、地球温暖化防止への対応を踏まえ、再生可能電源の拡充に向けた取組みも進めていきます。

＜高圧・特別高圧のお客さまへの電力販売＞

- お客さまのより幅広いニーズにお応えするため、株式会社エネットおよび株式会社シナジアパワーの代理店として、高圧・特別高圧のお客さまへの電力販売を拡大していきます。

競争力ある電源の拡充

パートナーの皆さまとともに、株式会社千葉袖ヶ浦エナジーによる石炭火力発電所の建設計画、および、川崎天然ガス発電株式会社による天然ガス火力発電所の増設計画を推進していきます。

再生可能電源

福島県とともに、（仮称）福島沿岸部風力発電構想における風況調査事業を進め、風力発電事業の事業化を検討していきます。

電力販売の拡大

北関東を中心とする関東圏の高圧・特別高圧のお客さまに、電力販売を拡大します。



より、そう、ちから。



エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

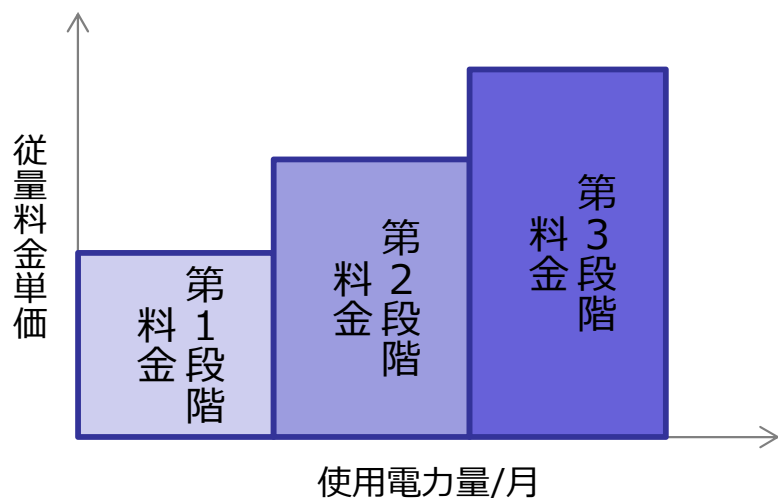
2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

＜低圧のお客さまへの電力販売＞

- お客さまのくらしやビジネスの価値向上を目指し、「お得」「安心」「簡単・便利」をお届けする「ずっとプラン」の販売を拡大します。
- 幅広いお客さまを対象としたお得な料金メニューと省エネ・温暖化対策の推進を両立していきます。
- 卸先の都市ガス事業者はもとより、LPG販売事業者等、様々な業界の皆さまとの提携を通じた販売についてもさらに拡大していきます。

お得と省エネの両立

逦増料金（三段階料金）により、お得と省エネルギーの推進を両立します。



省エネサービス

WEB会員サービス“myTOKYOGAS”による、ガス・電力の使用量・料金の見える化、使い過ぎに関するお知らせメール配信等の省エネサービスをご提供します。

提携先の拡大

- ・ 都市ガス供給エリア外の家庭用や業務用のお客さま向けの電力販売に関して、卸先の都市ガス事業者やLPG事業者と業務提携を拡大します。
- ・ 東京ガストリプル割（ガス＋電気＋インターネット割引）に関して提携プロバイダを拡充します。

2016年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

<成長・育成する事業>

- 「総合エネルギー企業グループ」の実現を目指し、エンジニアリングソリューション事業、リキッドガス事業、不動産事業の成長戦略を策定・実行していきます。

エンジニアリングソリューション事業

- ・ グループに分散していたエンジニアリング力とエネルギーソリューション力を東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社に集約したことを踏まえ、LNGバリューチェーン上の広い領域において、国内外のお客さまのニーズに合ったソリューションをワンストップで提供していきます。



リキッドガス事業

- ・ 2016年4月に設立した東京ガスリキッドホールディングス株式会社は、LPG販売や産業ガス製造・販売等の液化ガス事業（リキッドガス事業）を強化・育成していきます。
- ・ LPG販売事業については、LPG事業者とのアライアンスやM&A等によって充填所・配送センターの統合と規模の経済による合理化・拡大を進めていきます。また、LPGをお使いのお客さまへの電力や付加価値サービスの提供によってグループの成長を図っていきます。

不動産事業

- ・ 田町駅東口地区や豊洲埠頭地区といった大規模用地の開発に加えて、東京ガスグループが所有する中小規模の不動産についても事業化を推進していきます。

2016年度の主な取組み：「グローバル展開の加速」 「新たなグループフォーメーションの構築」等

＜グローバル展開の加速＞

- これまで体制整備・人員増強を図ってきた海外拠点のネットワークや情報網を活かし、北米・東南アジアにおいて、積極的に新規案件への参画を図っていきます。

＜新たなグループフォーメーション＞

- 「総合エネルギー企業グループ」の実現を目指し、ガス事業のさらなる進化に加えて、今後成長・育成する事業の成長戦略を後押しする、グループ経営・体制の整備・強化に一定の目処をつけます。

＜東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会＞

- 東京2020オフィシャルパートナー（ガス・ガス公共サービス）として、東京都を中心とした自治体・行政等と連携し、大会の成功と魅力ある東京の実現に貢献するとともに、公益企業として、障がい者スポーツの振興を通じて社会貢献を果たしていきます。

海外事業

- ・ 東レグループのマレーシアおよび北米の工場において、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社の海外子会社が、エネルギー供給設備を建設し、今年度よりエネルギーサービスの提供を開始します。

新たなグループフォーメーション

専門組織を設置し、以下の取組みを進めます：

- ・ 全面自由化や事業構造の発展といった内外環境の変化や不確実性の増大によって増加する事業リスクや市場リスクに適切に対応していきます。
- ・ 自由化によって競争が激化する中、業務効率化・生産性向上を図っていくためにICTを活用したグループ全体の業務改革を検討していきます。
- ・ 持続的成長の実現に向け、お客さまにお届けする新たな価値や新たなビジネスモデルの創出を検討していきます。

2016年度計画・2015年度見通し

	2016年度計画	2015年度見通し	増減
ガスお客さま件数	11,391千件	11,096千件	295千件
電力お客さま件数※1	400千件	－	400千件

	2016年度計画	2015年度見通し
LNG取扱数量※2	1,399万トン	1,408万トン
ガス販売量	152億m ³	156億m ³
電力販売量※3	128億kWh	109億kWh

国内設備投資計画（個別）		1,770億円	1,830億円
ガス事業	製造設備	247億円	381億円
	供給設備	1,002億円	1,055億円
	業務設備	500億円	383億円
附帯事業設備		20億円	11億円

※1 都市ガス卸供給先のガス事業者へのお申し込み件数は含まれておりません。

※2 東京ガスグループ全体の取扱数量。

※3 小売および卸販売の合計値。

<参考> 2015年度の取組み

【参考】2015年度の主な取組み：「総合エネルギー事業の進化」

①都市ガス事業

＜原料調達：さらなる多様化・柔軟な連携＞

- 4月、豪州クイーンズランド・カーティスLNGプロジェクトからのLNGの受入を開始しました。
- 8月、台湾の石油・ガス会社である台湾CPC社と「戦略的相互協力に関する協定」を締結しました。
- 3月、米国キャメロンLNGプロジェクトからのLNG売買に関する基本合意書を締結しました。

＜インフラ：天然ガス普及拡大・安定供給＞

- 10月、埼東幹線の建設工事を完了し、ガスの供給を開始しました。
- 1月、小名浜サテライトおよび周辺のお客さま向けの導管を使用開始し、福島県において初めて導管によるガスの供給を開始しました。
- 3月、日立LNG基地および茨城～栃木幹線を使用開始し、東京湾内の既存3基地および既存高圧パイプライン網と連携することにより、供給インフラ全体の安定性を向上しました。

＜再編統合：料金の低廉化・お客さまサービスの向上＞

- 千葉ガス株式会社・筑波学園ガス株式会社・美浦ガス株式会社の当社への統合について、9月に統合に関する契約書を締結し、3月までに統合に必要な認可・届出手続きを完了しました。

【参考】2015年度の主な取り組み：「総合エネルギー事業の進化」

①都市ガス事業

<エネルギーソリューション：お客さまニーズに即したご提案・スマート化の推進等>

- 10月、ガスと電気を組み合わせた業務用空調システム「スマートマルチ」を最適運転制御するサービス「ENESINFO」の販売に向け、営業を開始しました。
- 1月に「千住水素ステーション」、2月に「浦和水素ステーション」の営業を開始しました。
- 2月、パナソニック株式会社とともに、マンション向け家庭用燃料電池「エネファーム」の新製品を共同で開発しました。

②電力事業

<低圧のお客さまへの電力販売：「お得」「安心」「簡単・便利」をご提供>

- 11月、都市ガス卸供給先のガス事業者計5社と家庭用や業務用のお客さま向けの低圧電力の販売に関して、業務提携することに合意しました。
- 12月、お客さまのくらしやビジネス価値向上を目指し、総合エネルギーに関するサービスプラン「ずっともプラン」を決定するとともに、付加価値サービス提供に関してさまざまな企業と業務提携しました。
- 2月、家庭用や業務用のお客さま向けの低圧電力の販売に関して、都市ガス卸供給先のガス事業者等計10社と、LPガス販売事業者計27社と業務提携することに合意しました。

【参考】2015年度の主な取り組み：「総合エネルギー事業の進化」

②電力事業

<電源：競争力のある電源の拡充>

- 1月、株式会社千葉袖ヶ浦エナジー（出資者：出光興産株式会社33%、九州電力株式会社33%、当社33%）は、石炭火力発電所の建設計画について、環境影響評価方法書を経済産業省および関係自治体に提出しました。
- 2月、株式会社扇島パワー（出資者：昭和シェル石油株式会社25%、当社75%）は、扇島パワーステーション3号機の運転を予定通り開始しました。これにより、東京ガスグループの電源は約160万kWに拡充しました。
- 2月、福島県と共同で（仮称）福島沿岸部風力発電構想に関する環境配慮書を経済産業省および関係自治体に提出しました。
- 3月、川崎天然ガス発電株式会社（出資者：JXエネルギー株式会社51%、当社49%）は、川崎天然ガス発電所の3・4号機増設計画について、環境影響評価方法書を経済産業省および関係自治体に提出しました。

<高圧・特別高圧のお客さまへの電力販売：エネルギーコストの低減>

- 10月、東北電力株式会社と共同出資により、株式会社シナジアパワーを設立しました。

③エンジニアリングソリューション事業

- グループに分散するエンジニアリング力を東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社に集約し、LNGバリューチェーンにおける「受入・製造～供給・発電～エネルギーソリューション」にわたる領域において、お客さまのニーズに合ったソリューションをワンストップで提供する体制を整備しました。

④不動産事業

- 10月、三井不動産株式会社、三菱地所株式会社と共同で、JR田町駅東口隣接の東京ガス所有地において、オフィス、商業施設、ホテル等からなる「（仮称）TGMM芝浦プロジェクト」を着工しました。



「（仮称）TGMM芝浦プロジェクト」の概観イメージ

＜海外事業：拠点の拡充・北米/東南アジアにおける事業展開＞

- 4月、ジャカルタに東京ガスジャカルタ事務所を、ハノイに東京ガスハノイ事務所を開所しました。
- 5月、シンガポールに東京ガスアジア社を開所しました。
- 9月、バンコクに東京ガスバンコク事務所を開所しました。
- 12月、東レ株式会社がアメリカのサウスカロライナ州に新設する工場へエネルギーサービスを提供することについて、東レグループと基本合意しました。本事業は、東京ガスグループによる北米における初めてのエネルギーサービス事業となります。
- 3月、東南アジア・北米地域における事業展開に経営資源を集中させるため、ブラジルのエネルギーサービス事業から撤退しました。

＜事業構造＞

- 1月、リキッドガス事業等を統轄する持株会社「東京ガスリキッドホールディングス株式会社（東京ガスリキッドHD）」を新設し、東京ガスエネルギー株式会社、東京ガスケミカル株式会社、日本超低温株式会社等の株式を東京ガスリキッドHDに移管することを決定しました。
- 2月、株式会社LIXILおよびリンナイ株式会社と、株式会社ガスターの経営権をリンナイに移管することを目的としたガスター株式の譲渡契約を締結しました。

＜東京2020オリンピック・パラリンピック＞

- 7月、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の大会運営を担う東京2020スポンサーシッププログラムにおいて、「東京2020オフィシャルパートナー（ガス・ガス公共サービス）」契約を締結しました。

あなたとずっと、今日よりもっと。

